

思っていたよりわたしに近い

日本共産党といっしょに考えよう わたしたちの未来

GENDER EQUALITY 子ども政策

人を大切にする社会

日本の女性のおかれた
状況は世界でも異常



- 同じ仕事なのに男性より賃金が低い
- 選択的夫婦別姓や同性婚が認められない
- 痴漢や性加害などの犯罪に甘い

- 家事・育児負担は女性にばかり
- 性交同意年齢 13 歳は低すぎる
- 学校の校則が厳しい！



日本の社会は
ここもおかしい

もっともっと
だれもが生きやすい
社会に変えたい！

- 学費が高すぎる。奨学金も負担が重い
- なんて日本だけ賃金上がらないの
- 国政や地方議会で女性が少なすぎる
- 学校の先生があまりに多忙…

あなたの一票で、政治を変える

参議院選挙は7月10日

本気でジェンダー平等実現に 取り組む政治に切り替えます

ジェンダーギャップ指数2021

先進国としては異常な低位…

120

位(156か国中)

田村智子 参議院議員候補



女性差別撤廃条約を批准していながら、日本政府は
具体化・実施にまともに取り組んできませんでした。
国連からの是正勧告を無視し続けてきたのです。
日本共産党を躍進させ、こんな政治を変えましょう！

男女賃金格差の是正のため、その実態を公表する制度
をつくることを、国会質問で繰り返し求めてきました。
2022 年 5 月 20 日、政府は労働者 301 人以上の企業に
賃金格差の公表を義務付ける方針を表明しました。

大きな
一歩！

CHANGE

ジェンダー平等は、だれもが自分らしく尊厳を持って生き
ることができる社会をつくることを目標とするものです。
参院選で政治が変わり、一人ひとりが自分の力を思う存分
発揮できるようになれば、社会・経済は劇的に変わります。

自由と平和、まっすぐつらぬく。比例代表は日本共産党とお書きください

比例は
日本共産党

どれも政治で変えられます。
日本共産党と変えましょう！



参議院議員候補 (比例代表)

田村智子

TAMURA TOMOKO

1965 年長野県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。2010 年参議院初
当選。現在、党副委員長・政策委員長。桜を見る会問題など「鋭
い追及」と「抜本的な改革提案」の二刀流。愛称タムトモ。



田村智子サイトへ

日本共産党は提案します

8 時間働けば普通にくらせる社会へ

男女の賃金格差の是正は、ジェンダー平等社会の土台です。男女間の大
きな格差を解消させるとともに、中小企業の支援と合わせて全国一律で
最低賃金 1,500 円を実現し、経済的自立が可能な社会をめざします。

自分らしく生きられる

選択的夫婦別姓制度をいまず導入します。同性婚を認めるように民法
改正を行います。LGBT 平等法を制定し、社会のあらゆる場面で性的マ
イノリティの権利保障と理解促進を図ります。

安心して生きられる

「痴漢ゼロ」を政治の重要課題として相談窓口の充実、加害根絶のため
の啓発など行います。刑法の性犯罪規定について性被害の実態にあった
改正を求めます。DV 防止法を改正し、被害女性保護第一に整備します。

わたしの身体はわたしのもの

避妊も中絶も女性の大切な権利です。避妊薬と緊急避妊薬を安価で入手
しやすくし、中絶薬を早期に認可します。刑法の堕胎罪や母体保護法の
配偶者同意要件を廃止します。「生理の貧困」をなくします。

女性をもっと意思決定の場に

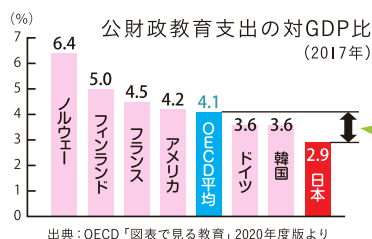
「2030 年までに政策・意思決定の構成を男女半々に」の目標を掲げ、積
極的差別是正措置を活用した実効性ある取り組みを進めます。政治分野
で男女共同参画推進法に沿い、パリテ（男女議員同数化）に取り組みます。

子育て・子どもに「冷たい国」から「やさしい国」にしよう

田村智子 参議院議員候補



あなたの国は子どもを生み育てやすい国ですか？—この質問に過半数の人が「そう思わない」と回答した国は日本だけです（少子化社会に関する国際意識調査報告書、2020年・内閣府）。
日本の子育て・教育のための予算の水準（対GDP比）は貧弱で、OECD諸国平均の7割です。日本共産党は、子どものための予算を2倍にするよう求めています。



教育費を他の先進国並みに支出すれば
6兆円の予算が生まれます

CHANGE

最大の問題は、もともと子育ての負担は重いものの、基本的に家庭の責任とし、政治の責任を果たしてこなかったことです。子どもの自殺や不登校の要因と指摘されている競争的な教育制度も変えていかなければなりません。

日本共産党は提案します



「子どもの貧困」は社会の貧困

賃金引き上げと児童手当の拡充などで、ひとり親家庭でも安心して子育てができるようにします。医療費や給食費、学用品を国が負担し無償化します。消費税を5%に減税し、困窮世帯には手厚い支援を行います。

無理のない、いきいきとした教育環境に

教員不足が深刻化しています。教員の異常な長時間・過密労働を解決するため、授業数に見合った定員増をはかり、残業代を支給させます。部活顧問の強制を禁止します。30人以下の少人数学級を実現します。

社会全体で子育てを支えます

子育て施策のための予算を倍にします。子ども手当を全員に支給し、拡充します。子育て支援、児童福祉施設の量と質の向上を図ります。70年以上改善されていない4・5歳児をはじめ、保育士配置基準を改めます。

学費は半額に、入学金は廃止します

国際比較でも異常に高い学費、そして大学卒業時には数百万の借金となる奨学金。日本にしかない入学金。受益者負担の考え方を改め、学びのための経済的負担を大幅に軽減させます。

人権が尊重される社会を教育現場から

子どもの権利条約をふまえ、あらゆる施策をすすめます。そのために政府から独立した「子どもコミッショナー」を設立します。包括的性教育を実施し、互いの違いを認め合い、自分を大事にできるようにします。

その他の政策は党公式サイトに詳しく！ [日本共産党](#)

「共に生きよう」

コロナ危機のもとで、東日本大震災で、リーマンショック後の「派遣切り」で、いつも心のなかに響いていた言葉です。「生きることを応援する政治」を、ひたすらに求め続けてきました。

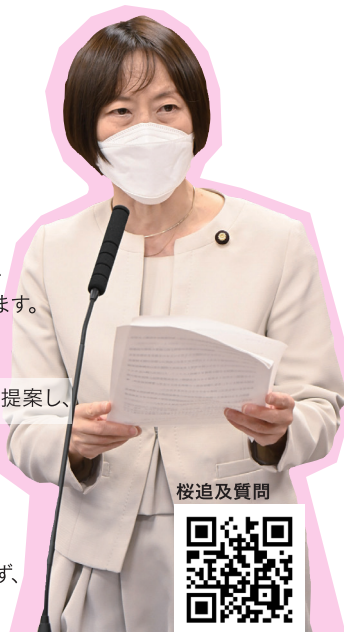
「仕方ない」とあきらめさせる政治。それは、個人を追い詰めただけではなく、日本の社会や経済の発展力を奪っています。

「時代を変えよう」

野党の立場でも要求にねざして告発し、提案し、実際に何度も政治を動かしてきました。もっと大きく動かしたい、変えたい—

持続可能な成長、気候危機打開、ジェンダー平等、そして侵略戦争を許さず、核兵器におびえることのない世界を。

田村智子 参議院議員候補 (比例代表)



桜追及質問



安倍元首相による税金の私物化が問われた「桜を見る会」疑惑を厳しく追及し、自公政治の根本を問う大問題となりました。大反響の国会中継動画をぜひご覧ください。



日本共産党へあなたの一票をお願いします！

共産党の躍進で、政治は変わる

参議院選挙は **7月10日** 日

ボランティア・ご支援 募集中です！

街頭演説を見に行く

演説中の拍手や笑顔が最大の励みになります。ピラまきのお手伝いも！

寄付や「赤旗」のご購読

日本共産党は、政党助成金も、企業・団体献金も一切もらっていません。個人からの寄付や「しんぶん赤旗」の購読料でがんばっています。ぜひご支援をお寄せください。

事務所でお手伝い

電話かけやピラ折り、ポスティング…いろいろな仕事があります。

SNSで拡散する

TwitterやLINEなどで日本共産党を広めてください。（投票日前日まで）



あなたの力をJCPへ！
JCPサポーター公式サイト



比例代表は **日本共産党** とお書きください。選挙区は **候補者名** をお書きください。